

## 名誉会員 松浦隼雄先生を悼む

黒川 恒雄†

本学会元副会長松浦隼雄先生には、平成4年7月30日ご逝去されました。享年74歳、ここに謹んで心から哀悼の意を捧げます。

松浦先生は、戦後間もなく、日本放送協会に入局され、昭和49年に専務理事、技術本部長で退任されるまでの28年間、わが国放送技術の向上・発展に寄与されました。

この間、コンピュータの導入による経営近代化計画の推進者として、また、番組製作から放送送出までをコンピュータで即時処理する総合放送自動化システムの開発・運用等において、わが国コンピュータリゼーションの先駆者として活躍されたことは衆知のことです。

さらに、放送衛星打ち上げ計画においても中心的役割を果たされて実験放送衛星の開発にも尽力され、また、放送センター建設本部長としても、世界に誇る代々木の放送センターおよびNHKホールの完成に尽力されました。

日本放送協会退任後は日本アイ・ビー・エム株式会社を迎えられ、理事、常務取締役、技術顧問等を歴任され、情報処理と電気通信との融合や、大型電子計算機の半導体素子からシステム完成までの一貫生産の実現に力を尽くすなど、コンピュータの開発・製造分野で斯界の発展に貢献さ

れました。

昭和58年には工学院大学電子工学科の教授に就任され、コンピュータ、情報システムの開発等ハード、ソフト両面にわたる情報処理システム工学の指導にあたられました。昭和63年以降は建設担当の常務理事として、広い視野と旺盛な意欲で常に学園の先頭に立って活躍されてきました。

心血を注がれた新宿校地再開発は順調に進捗、平成元年8月の新大学高層棟の建設に続き、本年10月には中層棟、高層オフィス棟も竣工し、「新宿地区の情報センター街区」(通称エステック <STEC>)の二期工事がまさに完了しようという矢先でありました。

本学会においては、1990年に創立30周年を迎えるに際し、21世紀のより高度な情報社会を展望しつつその実現の礎となる諸記念行事を行うこととなり、その一環として松浦先生の提案

を受け、本学会事務局を情報の一大発達基地となる新都心新宿の高層オフィス棟「エステック情報ビル」に移転させることになっております。

このような時にあたり、経験豊かな技術者であると同時に先進的な経営者でもあり、かつ人情味豊かな指導者でもあられた松浦先生を失ったことは、誠に大きな損失であり、痛惜の念に耐えません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

† 工学院大学常務理事・学園統合情報システムセンター長

## 御 略 歴

- 大正 7 年 1 月 18 日 東京都生まれ
- 昭和 17 年 9 月 東京帝国大学工学部電気工学科卒業
- 17 年 10 月 三菱電機(株)入社 (昭和 20 年 10 月退社)
- 21 年 12 月 日本放送協会技術局に入局
- 35 年 7 月 総務局労務部長
- 37 年 7 月 経営第 4 部長
- 42 年 8 月 経営企画室経営主幹
- 45 年 7 月 理事・経営情報室総務事務取扱
- 46 年 4 月 専務理事・技術本部長 (昭和 49 年 9 月退任)
- 49 年 9 月 日本アイ・ビー・エム(株)理事
- 50 年 2 月 常務取締役
- 56 年 3 月 技術顧問
- 58 年 4 月 アジア・パシフィック・グループ顧問 (昭和 60 年 3 月退任)
- 58 年 4 月 工学院大学電子工学科教授 (平成 2 年 3 月停年退職)
- 63 年 2 月 工学院大学建設担当常務理事・開発本部長
- 平成 3 年 4 月 エステック(株)代表取締役社長
- 4 年 7 月 30 日 逝去 (74 歳)
- 
- 昭和 41 年 5 月～49 年 9 月 エレクトロニクス協議会情報伝達処理部会副会長
- 43 年 9 月～49 年 9 月 通商産業省工業技術院産業技術審議会委員
- 44 年 5 月～50 年 6 月 (財)日本情報開発協会理事
- 46 年 3 月～49 年 7 月 (財)電波技術協会理事
- 46 年 11 月～50 年 5 月 (財)日本電波協会理事
- 56 年 5 月～58 年 5 月 (社)情報処理学会副会長
- 平成元年 5 月 (社)情報処理学会名誉会員
- 
- 受 賞 昭和 44 年 12 月 毎日工業技術賞特別賞 (総合放送自動化システムの開発)
- 56 年 4 月 藍綬褒章
- 60 年 3 月 前島賞
- 63 年 4 月 勲三等瑞宝章